



●大規模な土砂によって流されたJR高山本線の線路(宮川町牧戸地内)

飛騨市を襲った記録的な大雨

7月5日から降り続いた大雨により、西日本各地に被害をもたらしました。

飛騨市内では、河川の氾濫や国道41号、JR高山本線への大規模な土砂崩れが発生し、道路交通網に大きな被害をもたらしました。



●大量に流れ込んだ立木(宮川町小谷)



●国道41号を塞いだ土砂(古川町数河)

○被害状況(7月19日現在)

- ・人的被害 0件
- ・住宅被害 5件
- ・道路被害 24件
- ・河川被害 21件
- ・橋梁被害 1件
- ・農地被害 93件
- ・林地被害 48路線

○避難指示・勧告

- ・避難指示 617世帯
- ・避難勧告 1891人
- ・避難勧告 2997世帯
- ・避難勧告 8842人

◆支援企業の紹介(順不同、敬称略)

被災時には、各行政区長、消防団の皆さんのご協力と、ご支援いただきました企業の皆さまに心よりお礼申し上げます。

【災害応援協力に関する協定書に基づき応援】

○土砂撤去・砂(土のう用)運搬の協力

・吉城建設業協会

・水道等の復旧支援

・ひだ管設備協同組合

・吉城環境管理センター

【市民・事業所等による支援】

○孤立者の宿泊支援

・すこすびレッジ修徒館

○避難者へのマットの提供

・NPO法人Vネットぎふ

○避難者への飲料、食糧の提供

・ファミリーストアさとう

○被災者への新聞の提供

・古川ニュース販売

○被災者へのタオルセットの提供

・三井住友海上

○孤立者に対する食糧、飲料水等の提供

・移動販売

・まごころよしさん



市長コメント

道路は被害の大きさに比して、復旧が早く、関係者の尽力に感謝しています。

JRの復旧作業については、長期にわたることが確実で飛騨地域全体の観光にとっても重大な打撃です。この早期復旧が当面の大きな課題になります。JRや国など関係機関と連携、協議しながら復旧に向け全力で取り組んでおります。

民家の床上浸水が一件ありましたが、人的被害が無かったのは不幸中の幸いでした。

また、区の皆さんや、消防団の方などが力を発揮してくださり、自主避難所の開設、避難者への呼びかけ、誘導、警備などに尽力され、地域力の強さを改めて感じました。市民の皆さんに感謝しています。